



## 平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年5月10日

上場会社名 アクセルマーク株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3624 URL http://www.axelmark.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾下 順治  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部ゼネラルマネージャー (氏名) 鈴木 啓太 TEL 03-5354-3351  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績（平成27年10月1日～平成28年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	1,257	△24.7	△81	—	△84	—	△85	—
27年9月期第2四半期	1,668	△2.5	△22	—	△26	—	△49	—

(注) 包括利益 28年9月期第2四半期 △89百万円 (—%) 27年9月期第2四半期 △49百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	△19.55	—
27年9月期第2四半期	△11.24	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第2四半期	2,491	1,422	54.8
27年9月期	1,894	1,503	76.8

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 1,366百万円 27年9月期 1,454百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年9月期第3四半期（累計）の連結業績予想（平成27年10月1日～平成28年6月30日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	2,460	4.3	31	—	26	—	5	—	1.14

通期の業績予想に代えて翌四半期の業績予想を開示しております。詳細は四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年9月期2Q	4,370,900株	27年9月期	4,370,900株
② 期末自己株式数	28年9月期2Q	33株	27年9月期	33株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年9月期2Q	4,370,867株	27年9月期2Q	4,370,867株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続の実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるモバイルインターネットを取り巻く環境としては、モバイル通信サービスの多様化が進み、スマートフォン利用者の増加傾向が続いております。

当社の事業領域であるスマートフォンを利用したコンテンツ市場においてはスマートフォンの普及に伴い拡大傾向にあり、今後も引き続き拡大していくことが予想されます。その一方で、モバイルゲーム事業では大手家庭用ゲームメーカー各社の参入が進み、広告事業では新たな広告配信モデルが次々と誕生するなど、競争の激化がますます進んでおります。

このような市場環境の下、当社は「次代を担う新たなコアサービスの創出」を当連結会計年度の事業戦略に掲げて取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,257,110千円（前年同期比24.7%減）、営業損失81,680千円（前年同期は22,705千円の営業損失）、経常損失84,541千円（前年同期は26,701千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失85,437千円（前年同期は49,127千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績は、次の通りであります。

## (モバイルゲーム事業)

モバイルゲーム事業につきましては、新規タイトル「ワールドクロスサガ -時と少女と鏡の扉-」及びその他新規開発へのリソースの集中を進め、採算性の低いタイトルのサービスを終了してまいりました。その結果、前年同期に対して売上が大きく減少しております。その反面、「キングダム -英雄の系譜-」の1周年記念キャンペーンや「反逆のシエルアーク」130万ダウンロード記念感謝祭などを受けて、既存タイトルの売上は好調に推移しております。また、「ワールドクロスサガ -時と少女と鏡の扉-」の開発人員の増員及び事前プロモーションの実施により、費用が増加いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は478,175千円（前年同期比41.7%減）、セグメント損失は10,756千円（前年同期は46,418千円のセグメント利益）となりました。

## (広告事業)

広告事業につきましては、主力サービスであるスマートフォン向けアドネットワーク「ADroute」において機能拡充及び顧客数拡大に注力した結果、3月には過去最高の月間売上を更新いたしました。新たなブランド体験を実現する広告サービス「BRAND SCREEN」においては引き続き、案件の獲得に注力いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は617,442千円（前年同期比3.1%減）、セグメント利益は7,426千円（前年同期比80.3%減）となりました。

## (コンテンツ事業)

コンテンツ事業につきましては、キャリアプラットフォームを対象としたサービス売上にに関して漸減傾向が続いております。今後の新たな売上獲得を目指し、スマートフォン向けサービスをリリースいたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は161,492千円（前年同期比23.8%減）、セグメント利益は19,467千円（前年同期比562.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金が44,087千円、のれんが24,997千円減少したものの、現金及び預金が455,062千円、仕掛品が40,372千円、有形固定資産が41,064千円、投資その他の資産が18,897千円増加したこと等により前期末に比べて597,339千円増加し、2,491,712千円となりました。

負債については、短期借入金が40,000千円、未払法人税等が29,632千円減少したものの、買掛金が37,039千円、1年内返済予定の長期借入金が33,000千円、長期借入金が664,250千円増加したこと等により前期末に比べて679,118千円増加し、1,069,515千円となりました。

純資産については、非支配株主持分が6,928千円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失85,437千円の計上等により、前期末に比べて81,779千円減少し、1,422,196千円となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における「現金及び現金同等物」(以下「資金」といいます。)は、前連結会計年度末に比べて455,062千円増加し、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は1,390,619千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な内訳は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、128,240千円の使用(前年同期は1,698千円の使用)となりました。これは主に、のれん償却及び減価償却費等の計上29,457千円があったものの、税金等調整前四半期純損失84,541千円の計上、たな卸資産の増加40,794千円及び法人税等の支払32,604千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、73,946千円の使用(前年同期は195,523千円の獲得)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出45,559千円、出資金の払込による支出60,300千円等があったものの、敷金の回収による収入31,712千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、657,250千円の獲得(前年同期は85,750千円の獲得)となりました。これは主に、短期借入金の減少40,000千円及び長期借入れによる収入700,000千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高に関してはモバイルゲーム事業において、平成28年4月15日に「ワールドクロスサーガ-時と少女と鏡の扉-」をリリースしたこと、広告事業において、引き続き機能拡充及び広告主・媒体先の顧客数拡大に注力していくこと等を要因として、第2四半期連結会計期間に比べて大きく増加し、過去最高の四半期売上高を見込んでおります。

また、費用に関してはモバイルゲーム事業において「ワールドクロスサーガ-時と少女と鏡の扉-」に関するプロモーション費用、広告事業においてサービス拡販・運用に向けた人員強化等を要因に第2四半期連結会計期間と比べて増加すると見込んでおりますが、売上高の増加により第3四半期連結会計期間におきましては利益項目について黒字を見込んでおります。

平成28年9月期の業績予想につきましては、当社グループの事業を取り巻く環境が急速に変化しており、事業の成長速度を予測することが難しいことから、信頼性の高い通期の業績予想を算出することが困難なため、四半期毎に翌四半期の業績予想を公表させていただきます。

平成28年9月期第3四半期連結累計期間業績予想(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

売上高	2,460百万円(前年同期比4.3%増)
営業利益	31百万円(前年同期は24百万円の営業損失)
経常利益	26百万円(前年同期は30百万円の経常損失)
親会社株主に帰属する四半期純利益	5百万円(前年同期は53百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,241,556	1,696,619
売掛金	391,976	347,889
仕掛品	1,654	42,027
貯蔵品	927	1,349
その他	71,513	182,273
流動資産合計	1,707,628	2,270,159
固定資産		
有形固定資産	8,459	49,523
無形固定資産		
のれん	88,257	63,260
その他	746	590
無形固定資産合計	89,004	63,851
投資その他の資産	89,281	108,179
固定資産合計	186,744	221,553
資産合計	1,894,373	2,491,712
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	161,452	198,492
短期借入金	40,000	-
1年内返済予定の長期借入金	-	33,000
未払法人税等	34,093	4,460
賞与引当金	36,564	32,071
ポイント引当金	8,448	7,632
その他	109,838	129,609
流動負債合計	390,397	405,265
固定負債		
長期借入金	-	664,250
固定負債合計	-	664,250
負債合計	390,397	1,069,515
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	563,900	563,900
資本剰余金	1,116,770	1,117,172
利益剰余金	△225,901	△311,339
自己株式	△25	△25
株主資本合計	1,454,743	1,369,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	△3,673
その他の包括利益累計額合計	-	△3,673
新株予約権	286	286
非支配株主持分	48,946	55,875
純資産合計	1,503,976	1,422,196
負債純資産合計	1,894,373	2,491,712

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	1,668,849	1,257,110
売上原価	1,093,707	827,025
売上総利益	575,142	430,084
販売費及び一般管理費	597,847	511,764
営業損失(△)	△22,705	△81,680
営業外収益		
受取利息	580	358
還付加算金	20	-
事業譲渡益	-	830
受取手数料	-	600
その他	181	121
営業外収益合計	782	1,910
営業外費用		
支払利息	8	637
株式上場関連費用	2,502	2,399
支払手数料	1,500	-
投資事業組合運用損	-	1,526
その他	767	207
営業外費用合計	4,778	4,771
経常損失(△)	△26,701	△84,541
特別損失		
訴訟和解金	17,000	-
特別損失合計	17,000	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△43,701	△84,541
法人税、住民税及び事業税	5,426	1,615
法人税等合計	5,426	1,615
四半期純損失(△)	△49,127	△86,156
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△719
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△49,127	△85,437

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)
四半期純損失(△)	△49,127	△86,156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	△3,673
その他の包括利益合計	-	△3,673
四半期包括利益	△49,127	△89,830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△49,127	△89,111
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△719

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△43,701	△84,541
減価償却費	2,625	4,459
のれん償却額	55,257	24,997
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,577	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△461	△4,493
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△726	△815
受取利息及び受取配当金	△580	△358
支払利息	8	637
訴訟和解金	17,000	—
投資事業組合運用損益(△は益)	—	1,526
売上債権の増減額(△は増加)	25,586	44,087
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,132	37,039
前払費用の増減額(△は増加)	△642	△1,963
たな卸資産の増減額(△は増加)	45,178	△40,794
その他	△32,292	△75,589
小計	43,541	△95,807
利息及び配当金の受取額	596	361
利息の支払額	△40	△190
法人税等の支払額	△31,036	△32,604
法人税等の還付額	2,240	—
訴訟和解金の支払額	△17,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,698	△128,240
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△412,000	△312,000
定期預金の払戻による収入	612,000	312,000
有形固定資産の取得による支出	△303	△45,559
貸付けによる支出	△4,306	—
出資金の払込による支出	—	△60,300
敷金の回収による収入	—	31,712
その他	134	200
投資活動によるキャッシュ・フロー	195,523	△73,946
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	85,000	△40,000
長期借入れによる収入	—	700,000
長期借入金の返済による支出	—	△2,750
新株予約権の発行による収入	750	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	85,750	657,250
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	279,575	455,062
現金及び現金同等物の期首残高	458,593	935,556
現金及び現金同等物の四半期末残高	738,168	1,390,619

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	モバイル ゲーム事業	広告事業	コンテンツ 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	819,508	637,252	211,946	1,668,707	142	1,668,849
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	8	—	8	△8	—
計	819,508	637,260	211,946	1,668,716	133	1,668,849
セグメント利益	46,418	37,765	2,938	87,121	△109,827	△22,705

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	87,121
のれんの償却額	△30,259
全社費用(注)	△79,567
四半期連結損益計算書の営業損失	△22,705

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	モバイル ゲーム事業	広告事業	コンテンツ 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	478,175	617,442	161,492	1,257,110	—	1,257,110
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	478,175	617,442	161,492	1,257,110	—	1,257,110
セグメント利益又は損 失(△)	△10,756	7,426	19,467	16,136	△97,817	△81,680

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	16,136
全社費用(注)	△97,817
四半期連結損益計算書の営業損失	△81,680

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。